

令和7年度 加古川市立別府小学校学校評価について

令和7年度の教育活動についての評価をお知らせいたします。保護者アンケートや児童アンケートとともに、年度初めに立てた教育目標に関する達成状況を教職員が自己評価し、来年度に向けての改善の方策を示しました。学校運営協議会委員の皆様には、保護者アンケート・児童アンケート・教職員の自己評価の結果についてご意見を伺い、学校関係者評価としております。この学校評価を来年度の教育活動に活かしてまいります。今後も別府小学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校目標	こころ豊かに学び続ける健康で明るいべふっ子の育成			
めざす児童像	互いに認め合い、生き生きと学び活動するべふっ子			
目標	実践目標	学校自己評価		学校関係者評価 (自己評価の適切さ)
		達成状況	改善の方策	
(1) かしこいべふっ子 ～確かな学力を培います～	<ul style="list-style-type: none"> ・協同的探究学習による「わかる学力」の向上で学び続ける児童の育成を図ります ・基礎・基本の定着で「できる学力」の向上を図ります ・一人一人に応じたきめ細かな指導をします ・個々のニーズに応じた特別支援教育を推進します。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教科指導において視覚的に分かりやすく指導するために画像や動画をモニタに映し出したり、AIによる習熟度別の問題に取り組んだりしてICTの活用を推進していく。 ・朝の学習や休み時間を活用し、基礎基本の確実な定着を目指す。 	ICTの活用(デジタル)とともにこれまでの実践(アナログ)も大切に、主体的に学習に取り組む態度を養い、確かな学力の育成に努めてほしい。
(2) やさしいべふっ子 ～豊かな心を育てます～	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心にひびく道徳教育を推進します ・豊かな心を養う人権教育を推進します ・児童の内面理解に基づく生徒指導を充実します ・自主的実践的な態度を育てる特別活動を充実します 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ファイル」を活用して、教職員と家庭とが連携した道徳教育を目指す。 ・「学年だより」等で、児童の様子を家庭に積極的に伝え、家庭におけるコミュニケーションのきっかけをつくっていく。 	道徳教育・人権教育の推進とともに小規模校の良さを生かし、異学年交流等、現在の取組を継続して児童に豊かな心を育ててほしい。
(3) たくましいべふっ子 ～健やかな体と心を育てます～	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくりの日常化を図ります ・健康教育を推進します ・食育を推進します 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり強化週間(学期に1回)を設け、全児童が意識して体力づくりをする機会をつくる。 ・家庭やゲストティーチャー等との連携を図り、食についての意識の向上を目指す。 	学校・家庭・地域が連携し、児童の運動やスポーツへの興味関心の向上、運動習慣の定着を図る必要がある。
(4) 家庭・地域社会との連携協力 ～地域総がかりの教育を進めます～	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校園連携ユニット」の推進を図ります ・学校の情報をお知らせし、意見を伺います ・安全・安心な学校づくりを推進します 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きゲストティーチャーや学校支援ボランティアとの積極的な交流を図り、家庭・地域と連携し、豊かな教育活動を通して、児童の健やかな成長につなげる。 	地域の教育資源や人材の活用、他校の児童との交流等、地域の交流が豊かな教育活動を展開してほしい。
(5) 教職員の資質向上 ～研修に努め実践的指導力を磨きます～	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性と実践的指導力の向上に努めます ・コンプライアンス推進に努めるとともに人権感覚を磨き、人間力を高めます ・組織力向上に向けた協働体制を確立します 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業をはじめ、互いの授業から学び合い、教職員の資質向上を図る。 ・普段から「チーム学校」として、教職員間で情報交換しながら指導力や人権意識を高めていく。 	学校・家庭・地域が「チーム学校」として一体となり、学校の課題について協力していくことが円滑な学校運営につながる。

※自己評価結果(達成状況)【A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:できていない】

A、B合わせて80%以上を「A」、C、D合わせて20%以上を「C」と評価